

カフェ店内における茶系飲料が増加、2024 年に前年比 8.8%増加

<外食・中食 調査レポート>

2025 年 6 月 18 日

サカーナ・ジャパン株式会社

(エヌピーディー・ジャパン株式会社より社名変更)

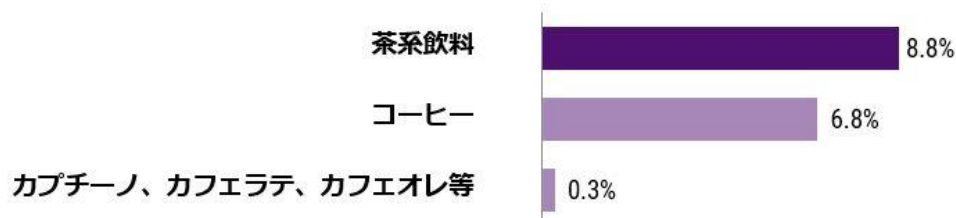
外食・中食市場情報サービス『CREST®^{*1}』を提供するサカーナ・ジャパン株式会社（エヌピーディー・ジャパン株式会社より社名変更、東京都港区、ケビン・ソー代表）は、外食・中食市場におけるカフェ店内での茶系飲料の飲料動向分析レポートを 2025 年 6 月 18 日に公表します。

本分析レポートでは、大きく以下のことが分かります。2024 年（1-12 月計）のセルフサービス型カフェ+従来型喫茶店の店内飲食（外食）における茶系飲料の食機会数は、前年同期比で 8.8%増と大きく増加しました。

2024 年カフェ店内の茶系飲料の食機会数は前年比 8.8%増

2024 年（1-12 月計）のセルフサービス型カフェ+従来型喫茶店における茶系飲料の店内飲食（外食）での食機会数は、前年同期比で 8.8%増と大きく増加しました（図表 1）。コーヒーは、同 6.7%増、カプチーノ、カフェラテ、カフェオレ等は、同 0.3%増でした。

<図表1> 2024年カフェ店内飲食
における主要飲料の食機会数前年比%



* 茶系飲料 = 日本茶、麦茶、中国茶、紅茶、ハーブティー、その他のお茶の合計

出典: Circana, CREST, 2024年1-12月計

サカーナ・ジャパン フードサービスディレクターである、東さやか（あずま・さやか）は、次のように話します。「コーヒー市場の成熟化や若者のコーヒー離れなどもあり、茶系飲料に特化したブランドを強化する企業も多くなっています。リラックスしたい時のちょっとした贅沢のハーブティー、ティーラテ、柑橘系と合わせたティーやフレーバーティーなど、茶系飲料の新しい飲み方の提案が増え、消費者の多様性や目新しさへのニーズに応えています。Z 世代では、それ以上の世代と比べ、茶

系飲料の出現率が高く、コーヒーの出現率は、それ以上の世代ほど高くないことから、今後の伸びしろを考えると、ますますティーに注力する企業が増加することが考えられます。」

***1 CREST®**

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを1年365日、消費者から収集し、年間13万を超えるサンプル数を元に分析できる情報サービスです。外食市場規模、中食市場規模、客数を業態、セグメント別に把握可能です。世界13か国で実施。

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

■ 本件に関するお問い合わせ先

サカーナ・ジャパン株式会社

担当：東（あずま）さやか

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-6-5 Biz Feel 田町 2F

TEL : 03-5798-7663

Email : circanajapan.info@circana.com

■ 会社概要

会社名 サカーナ・ジャパン株式会社（エヌピーディー・ジャパン株式会社より社名変更）

英名 Circana Japan Ltd.

設立年月日 2003年 4月 31日

所在地 〒108-0023 東京都港区芝浦3-6-5 Biz Feel 田町 2F

TEL (03) 5798 - 7663

資本金 80,000,000円

所属団体 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

代表者 ケビン・ソー